

星の夢百聞

第218号

発行日 2024年4月1日
発行 株式会社 おいらーく
札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40
発行人 星野 二三江

2024年度スローガン

「知識ある介護と愛ある笑顔の二頭龍」

株式会社おいらーく
各管理者からの抱負



代表 星野 二三江

4月1日、令和6年度の幕開けです。今期も、新規事業の企画を職員と共に進めてゆきたいと思っております。

入社式のため本日、「居宅介護支援事業所スマイルト」が、「高齢者向けマンションスマイル北31条」の二階に開設されます。ご利用者様の幸せ第一、富樫所長に期待してください。

また、今期は訪問看護ステーションの開設も予定しています。配食事業部は、いよいよ、セントラルキッチンに挑戦します。

職員の育成は、日に日に進化するシステムを活用する研修会！感染対策！環境整備！社会医療法人 豊生会との連携の元、口腔ケアやリハビリなど、ご利用者様の快適な生活を新たな企画と共に進めてまいります。今年も「二頭龍」今までの自分を超える もう一つの自分を見つめる！この言葉とともに、今期もおいらーく心をそろえて進んで参ります。どうぞよろしくお願い致します。

今年度のスローガンは、「知識ある介護と愛ある笑顔の二頭龍」に決定しました。僕自身このスローガンは、知識と介護・愛と笑顔がスーツ体に浸透してすぐに馴染みました。

介護業界は、なかなか人財確保が難しい状況ではありますが、職員教育にしっかりと取組及び職員の笑顔なしにあるべき介護は成立しないという原点のかえり、おいらーく品質・おいらーくプライドをより深化させる1年としたいと考えております。



部長 松田 茂男



副代表 小林 朋恵

新年度始まりました！この時期は毎年気持ち引き締まります。春の訪れとともに新しいことに挑戦したい思いが湧き出てきます。今期はおいらーくとして、今一度地域みなさんに頼られる存在になっていけるように、地域に根ざした活動にも取り組んでいきたいと思っております。そして、「介護といえればおいらーく」と言っていたらと思うように、ケアの質も磨いていけたらと思います。その為には、職員の笑顔と心身共に健康が一番です。長く楽しく働ける職場作り！取り組んでまいります。今年も12月がひとつの区切りです。それまでしっかりとスピード感をもって、自分と仲間を信じ、前を向いて歩んでいきます。いつも温かい目でご支援いただきまして誠に有難う御座います。引き続きどうぞよろしくお願致します。

昨年5月より、コロナが5類となり世の中全体が以前の活気に戻り感染予防意識が薄れているように感じられます。おいらーくでも面会、行事、歓迎会等の再開で利用者様、職員も通常の生活が送れるようになりました。しかし、コロナ、インフル、ノロ、RS等、身近に発生しているかたは襲ってくるかもしれません。今期は、スローガンのように、感染知識をしっかりと持つための介護と、ウイルスに負けずに愛ある笑顔での介護の二頭龍が発揮できるような、感染委員会としても予防対策と有事対策の二頭龍が発揮できるよう頑張ります。ご家族、ご利用者、職員全体の意識と協力が必要になります。皆様、宜しくお願い致します。

ココ東雁来の今期の目標は、元気な方はより元気に、そうでない方はお元気になるように一緒に歩んでいけたらと思います。又ご利用者様の笑顔を取り戻すための行事をどんどん考案、実行に移していけたらいいですね。コロナで全く楽しめなかった3年間を取り戻すために、最善を尽くして頑張りたいと思っております。又感染は、終わりがありませんので、気を付けつつもご家族様と一緒に老後楽しんでもらえるような老後館を目指します。老いを楽しむと書いて「おいらーく」私たちが笑顔で楽しめば、おのずと利用者様も楽しくなります。そんな愛のある介護と環境を提供できるように、今期も頑張っていきます。



感染対策委員長 藤田 善子



顧問 寺本 壽美子



CoCo東雁来 白鳥 たか子

COCO東苗穂・リ・ボンの今期の事業所目標は「現状に満足しないで、知識と技術を研く」を目標にいたしました。やはりコロナが5類とは言え、感染力も変わりませんし住宅・リ・ボン職員が日々自分たちも十分消毒をし感染した方のケアにも気を付けております。

今年度は、利用者様・ご家族様との信頼関係をさらに構築し、より良いケアを進めてまいりたいと思っております。知識・介護力に満足せず更なる知識・技術力を磨き皆様には、リ・ボンとさせて頂ける様日々努力をして参りたいと思っております。住宅では喫茶店を再開し穏やかな時間を過ごせるように計画してまいります。



リ・ボン所長
山田 智恵子

暖かい日差しが多くなり心が浮足立ちそうなこの頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。GH夢は去年より更に多国籍化しており、ご家族様の中には不安を感じている方もいらっしゃると思います。ですが、ご理解とご協力を本当にありがとうございます。今期のスローガン、『知識ある介護と愛ある笑顔の二頭龍』。海外の実習生達が日々力を付け、辛い時でも笑顔をお忘れぬ姿勢がGH職員の心に響き、見習うことの多い日を過ごしております。日本、ミャンマー、ネパール、力を合わせて全力で今年度も楽しんでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



グループホーム夢所長
中島 紬子

定期巡回が始まり4年目の春を迎える事ができました。たくさんの方に出会い様々な経験を積み重ねることができました。まだまだ不十分で学ばなければならない事も多く、皆様にご指導いただくことも事もあると思うので宜しくお願い致します。

今期は主にコロナ禍でなかなか出来なかった地域住民の方々とイベント等を通して深く関わりを持って行けたら良いと思っております。今年度も宜しくお願い致します。



サポートケアライブ所長
和田 舞

銭函デイトレセンターに通っていただいている皆さま、昨年度は大変お世話になりました。さて、4月からの新年度の抱負ということ、昨年度を振り返ると目先のリスク、不安や心配なことが気になり一歩踏み出し行動できなかった場面も多かったように思います。私の好きな歌の中に「天気予報で夕方からの降水確率が上がっていても、雨に濡れない場所を探してばかりより星空を信じて出かけよう」という旨のフレーズがあります。私もそれに倣い、攻めの姿勢を忘れず日々の業務に臨みたいと思っております。新年度も皆さまに楽しく過ごしていただけるよう職員一同、知恵を絞って色々な活動を考案中です。4月から銭函デイトレセンターをよろしくお願いたします！



銭函デイトレセンター長
横川 将太

今期のスローガン、二頭龍。気持ちのこもった介護と笑顔をお手伝いをさせて頂きます。大切にはチームせんりり皆様のお生活のサポートをさせていただきます。介護保険制度が新しくなり、感染症とは相変わらず付き合いつづけていかなければいけません。社会情勢は変化していますが、当たり前前の生活を当たり前に送れるよう、努めて参ります。今年度もよろしくお願いたします。



せんりホーム長
本間 圭介

開設し、早4年目を迎えます。昨年の5月にコロナ5類に移行となり、初めての秋祭りを開催する事ができました。入居者様、ご家族様との交流もでき皆様の笑顔も見れ楽しいひと時を過ごす事ができました。

今年も入居者様が楽しめるような行事をたくさん企画し地域との交流も行いながら銭函ならではの地域に根差した住宅にしていけるようマスクはまだまだ手放せませんが入居者様、ご家族様、職員に協力してもらい盛り上げていこうと思っております。

今年度も宜しくお願い致します。



CoCo輝業ホーム長
金森 真希

今期のスローガン、知識ある介護、愛ある笑顔の二頭龍。実践すべく銭函事業所全体で取り組んでいければと思っております。昨季に引き続き町内会をはじめ地域の皆様との交流を続けていき、その中で自分たちの役割を思いっきり発揮する、地域のおいらーくとしてさらに認知周知されればより良い地域づくりに貢献できるのではないかと期待しているところです。私たち介護職がその職業スキルを上げて、地域にとって頼りがいのある事業所を目指していければと思っております。私個人としては、介護の仕事についてから早いもので今年で22年目になります。今までを振り返り大した成長もしていないように感じますが初心を忘れず日々の振り返りや反省を怠らず前を向いて楽しく笑顔で一年間頑張れたらいいなと思っております。今期も宜しくお願いいたします。



銭函事業部
菅原 智絵



朝礼でのステキなお話 特集



「自分が介護されたい介護を」初心を思い出した出来事

一月から利用になったKさんについてお話ししたいと思います。Kさんは男性52歳、要介護5で、高次脳機能障害のある方です。他の事業所にも通っている事や事業所での体験もあり、ある程度の情報は分かっています。訴えが頻回との事で、職員は大丈夫かなと戸惑っていました。いざ利用になると「すみません、〇〇お願いします」の要望であったり、食事や帰りの時間が近くなると「〇〇はまだですか」と聞いてくる事が頻回でした。

対応としては時間ごとにその方の担当職員を決め、提供する活動内容によっては、訴えの時間の間隔が長い事もありました。こちらの活動の促しに対し、ご本人の思いが一致しなかったり、通じなかったりすると、段々と声を荒げることもあります。丁寧に説明することと納得してくれます。

身体機能においても一部介助が必要な方でもあります。何よりKさんが、この記事を書いている私より年下という事に、感慨深いものがありました。もし私がKさんの立場だったら、どう思い、どう過ごす、どう行動するのか、と考えますが、想像だけで分かる筈がありません。自分が介護を志した時の思いである、「自分が介護されたい介護をする」をふと思ひ出しました。

Kさんは当事業所に利用する毎に、多少は慣れていただいたのか訴えの回数は少しですが減ったように思います。さらに病気への理解を深め、ご本人とコミュニケーションをとりながら、安心してできる環境や興味のある活動を見つけてあげていきたいと思えます。

(てんやわんや東苗穂 恵本)

海外実習生同士の助け合い

ネパールから特定技能実習生として日本に来た二人が丸4か月経とうとしています。日本人の話す日本語は早口で聞き取ることが難しく「わからない」と答える日が沢山ありました。そんな中、彼らにとって心強い存在を放っていたのは、先に勤務に就いていたミャンマー女子2人の存在だと思えます。仕事内容のみならず日本語もミャンマー女子から教えてもらえる、そして何より年齢が近い。4人揃うと、片言でも日本語で話す：ミャンマーとネパールなのに共通語は日本語とても不思議な感覚に陥ります。先日、わたしは何度も「ネパールカレーが食べたい。ネパールカレーが食べたいよー！」と言っていたところ、男子二人で協力し、作って持ってきてくれました。お肉がゴロゴロ入っていて、香辛料が沢山使われており、トマトの酸味がすごく美味しかった！「辛いよ」と言われていたので気合を入れて食べました。確かにほどよく辛い：でもミャンマー料理が一番辛いです！いつか皆様に提供したいです！（GH夢 中島）

利用者一人一人に合ったアプローチを

新規利用者のY様は、左麻痺が軽度残っているため、ご家族からは「何か活動でどんどん動かして欲しい」という要望がありました。しかし、最初は言葉数も少なく、表情も強張っており、「身体が怖いから横になりたい」という姿勢が多く見られました。そこで、私たち職員は様々な工夫を凝らし、アプローチを行いました。洗濯物を畳んだり、生活リハビリを提供することで、Y様とのコミュニケーションを図りました。

ある朝、Y様から「今日はパン作りやろうかな、一緒に作ろうって誘われたんだ」という言葉がありました。これをきっかけにパン作りに参加するようになりました。その後、日々の活動量が増え、気が付けば率先して洗いをやる姿が見られるようになりまし。この変化を帰りの送迎の際にご家族に報告すると、「え？母が：。」と感動され、涙を流される場面がありました。私自身も感極まり、自然と涙が溢れるほどでした。現在では、Y様は帰り際に冗談を飛ばす程すっかり本町に慣れ、表情も柔らかくなっています。これからも引き続き今まで通りのやり方ではなく、ケアの根本から変えていけるような、心構えで業務に当たろうと思えます。

(てんやわんや本町 高堂)

行事報告

春のひな人形飾り

〈リ・ボン〉

雛人形を出すと、数人の入居者が居室から出てきて「きれいだねえ」「わあ、お雛様だ」と口々に言われ、飾るのを手伝って下さいました。

この数分前、帰宅願望で涙されていた方も、一変して気持ちが切り替わり満面の笑顔になりました。「さっきまでの家に帰りたい」気持ちが、お雛様を観た感動でこんなにも変わるなんて：。

女性はいくつになっても少女の心をもっているんですね。3月3日はお雛様を囲んで、ひな祭りをやりたいと思います。これからも季節を感じ、笑顔を引き出していける事を考えていきたいと思えます。(石谷)



慣れた手つきで
綺麗に飾って
くださいました！

昨年12月、事業を継承し、4ヶ月が過ぎました。新たな出会いのなか、今までとは違う環境のなか、「日々前進」を心に決め進んでまいりました。

季節も冬から春へ。今まではこれといった活動はできませんでしたが、これからは自分の持前を発揮し、皆さんと外へ出て、今しかできない事に取り組んでいきたいです。

今年のスローガンを肝に銘じ、プラス誠心誠意・おもてなしの心を忘れず、「おいらーくさんで良かった」と云っていただけるよう、一日一日を大切に頑張っています。



スマイル北31条 高橋 雅博

てんやわんや新道は早いものでリニューアルして今年3年目を迎えます。リニューアルでは玄関の改装、床を全面フロアカーペット、リフト浴の導入、そして大きな目玉でもあります外にはパークゴルフ場、ピザ窯を備えております。特にピザは作りは人気メニューで毎日5名前後の方が作られ美味しいと喜ばれています。

今年のスローガンにあります「知識ある介護と愛ある笑顔の二頭龍」の言葉を胸に笑顔溢れるてんやわんや新道であるために職員一同日々頑張っています。今年もどうぞよろしくお願います。



てんやわんや新道センター長 今田 克也

えくぼ元町職員の団結力と行動力に助けられた1年でした。人という字は人が支え合うことで人の字が出来上がったという有名な一言があります。まさにその言葉通り、一人ではできなくてもみんなの力があれば乗り切ることができ、最後には笑顔になれるのです。看護も介護も提供できる強みを生かしながら新しいことにもチャレンジし、飛躍の年にしていきたいと思えます。今年度も宜しくお願いたします。



えくぼ元町所長 富所 次代

事務所がエルパサ敷地内で移転し、初めての冬を過ごし、最近では雪解けも進み、少しづつ春を感じる気候になってきました。温暖な地方では、段階的に咲く花が、一気に開花する北海道の春がわたしは大好きです。

そして、おいらーくでは2024年度は短縮決算になり、会計期間変更の準備に入ります。始まったばかりですが、いつもより3カ月短い年度になり、2025年はまさしく新年、元旦1月からスタートになりますので、しっかりと備えていきたいと思えます。当然ですが今年度もご利用のみなさま、職員のみなさまが気持ちよく過ごせるように誠心誠意努めていきたいと思えますので、ご指導の程よろしくお願いたします。



総務・経理次長 尾川 真一

元町ケアサポートセンターもお陰様をもちまして10年を迎えることが出来ました。ありがとうございます。こちらに異動してまだ8か月程度ではありますが、日々勉強させて頂いています。昨年末に発生したノロウイルスによるご迷惑をおかけし、心よりお詫び申し上げます。施設の建設からの年月が経過し、修繕が必要な箇所が増えており、まだ追いついていない部分もございますが、入居者の皆様の安心と幸せを第一に考え、全力で努めて参ります。今後変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



CoCo元町センター長 鈴木 直文

昨年から行事や外出の機会が増えてきて利用者様にも笑顔が戻り活気が出てきたように感じています。コロナが無くなった訳ではありませんが、せっかくの人生コロナに負けて楽しい想いが出来ないなんて勿体ありません！今期も利用者様、職員皆が楽しめるよう頑張っていきたいと思えます。

今期のスローガン、「知識ある介護と愛ある笑顔の二頭龍」の言葉通り、知識ある安心な介護と絶やさない笑顔で皆様を支えていければ幸いです。今年度もよろしくお願致します。



えくぼ所長 佐々木 浩二

昨年度より、新型コロナウイルスが5類へと移行され、外出や面会等についても徐々に対応制限の緩和をさせていただきました。多くのご不安等もありました事、この機会をお借りし、皆様へ心からの感謝を申し上げます。

今年度は、感染対策を徹底しながら、可能な限りで楽しく活気ある事業所運営を目指し、新年度のスタートと共に、うらら伏古職員一同、新たな一歩を踏み出していきます。

もう少しで、雪解け春がやってきます。暖かくなり、多くの外出機会等を設けていきたいと考えております。入居者様及び家族様が常に安心して生活できる環境を整え、新たな取り組みへのチャレンジも行っていきたい所存です。今年度も宜しくお願致します。



うらら伏古ホーム長 広部 毅

おいらーくの給食事業が配食事業部として開設されたのが2014年4月、丁度10年前です。

この10年、私は事業部課長として様々な困難に立ち向かい、走りぬいた10年でもありました。そしてまた新たな事業展開を迎える2024年度。提供する食事が滞ることなく円滑に、且つ顧客満足度向上に努め、また現在在籍している職員が少しでも長く勤務出来る様、知恵を絞って、解決に向けて取り進む所存であります。



配食事業部課長
栗林 実

ドリーム保育所は今年で8年目を迎えるようとしている企業主導型保育所です。定員は15名、全3クラスの小さな保育所ですが、お蔭様で今年度は既に定員に達し、2024年度も現段階で6月には定員に達することが決定しております。先生たちのモットーである「明るく楽しい保育を」と愛ある笑顔のおかげで、クチコミで園児獲得!! 2024年も『知識ある保育と愛ある笑顔の二頭龍』で頑張ります!



ドリーム
齊藤 あゆ

今の職場に勤める事になり、今年の夏で2年が経ちます。ここでも今まで見てきたこの現場でも、職員は皆、目の前の利用者様の為に来ることを考え、最善を尽くそうと頑張っていました。少しづつ時代が変わり、業務の効率化や機械化、働きの少数化などが見られてきています。2025年問題とも言われる困難な時代が目前の今期ですが、これまで自身が培った経験と、おもいやるの気持ちを忘れずに、そして変わらずに皆様のおチカラになれるよう頑張りたいと思います。



えくぼ東雁来所長
大場 綱太

三寒四温の季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか? いよいよ新年度が始まります。この度、驚天動地の急展開により、4月1日より新規で居宅介護支援事業所を開設することになりました。独りケアマネということ、事業所加算も取れませんが、時間外や土日の対応は今までどおり行ない、真の「利用者本位」を実践していけたらと考えています。皆様におかれましては、どうかお近くにお越しの際は是非お立ち寄り頂き、叱咤激励、ご指導ご鞭撻を賜れば幸甚の至りでございます。



スマイルート
富樫 英生

少しずつ雪が溶け、春の兆しを感じるようになりました。昨年度は様々な方と出会い、生きがいサロン東雁来をご利用頂きました事を感謝いたします。また本年度も、お一人お一人の声を大事にし、ご利用者様・ご家族様に、それに関わる沢山の方、そして職員や家族に思いやりを持ち、東雁来ケアサポートセンターと協力しながら、また今年一年楽しい職場作りと、楽しみを持って貰える環境作りを励んでいきたいと思っております。



生きがいサロン東雁来センター長
福本 美紀

昨年度はコロナも5類になり外出レクや庭でのパークゴルフ、バーベキューなど外での活動をたくさん行い楽しんでいただきました。久々の外出行事に利用者さんはウキウキしながら、職員は少々不安を感じながらも無事に行うことが出来ました。今年度も昨年度以上に笑顔いっぱいになるようにまた楽しい活動を企画していきたいと思っております。またそれぞれの利用者様・ご家族様が安心して過ごせるよう職員各々が愛ある笑顔で皆様をお迎えしたいと思っております。今年度もよろしくお願いいたします。



てんやわんや東苗穂センター長
小野寺 美奈子

介護支援専門員として従事するためには、5年毎に「更新研修」を受講する必要があります。フォルテシモでは先日その研修を3名無事に修了いたしました。介護報酬の改定や介護保険制度の更新に対応していくためにも、介護支援専門員には研修が欠かせません。フォルテシモ職員一同、今年度は前年度以上に色々な研修に参加し、得た知識を活かし、今までやってきたことを振り返りつつ新しいことにもチャレンジしていきたくと思っています。今年度もよろしくお願いたします。



フォルテシモ所長
近正 朋子

昨年度後半よりエルパサに通われる方の人数がどんどん増えていきました。今では100名来ることにも普通になってきました。人数が増えても皆様への日々の対応は変わらずにしていきたいと思っております。時代を先取るデイサービスであり続けるため、一日一日を大切にしていき、利用者様と共に学んでいき、来られている皆様エルパサに来てよかった!元気がなった!と思って頂けるようなサービス提供を目指して今年度も頑張ってください。今年度もよろしくお願いいたします。



Lpasaセンター長
小原 諭



なべちゃん

4コマ

介護日記

No.33



第103弾

ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



3月になり小樽の鮮魚店では春告魚として知られる「ニシン」を多く見かけるようになった。産卵の時期なのでオスは白子をメスは卵を抱えている。値段も手ごろだから我が家ではしばしば食卓に登場する。新鮮なものなら刺身も購入できるがやや高い。焼けばその身は水分が多めだがほろほろし甘みもあって実にうまい。おろし大根に醤油をかけ、ほぐした身とともに味わう。最高だ。ニシンの卵は正月には高価なカズノコとなるが、旬の今は素朴に焼いただけでも十分うまい。大きいから食べ応えがあるし、歯ざわりもプリプリして美味である。もちろん白子もクリミーで身からめて食べるとこれも絶品だ。

ひとつ難点があるとすれば骨の多さだろう。特に卵や白子のまわりは細長い骨でびっしりとおおわれていて煩わしい。くずさずに骨を外したらちようど大きなゲジゲジに見える。それはそれで見事だ。骨の多い魚としてはニシンが第2位だそう。第1位はウナギの仲間のハモという魚らしい。食べ方としては焼き魚や煮魚が多いが、他にも丸干しニシンや糠ニシンなども食べる。ニシンそばは食べたことがないが、あれは身欠きニシンの甘露煮だそう。

北海道で身欠きニシンといえばニシン漬けだろう。ゴロゴロとした大根やキャベツがニシンの風味で格別だ。珍味である切り込みや飯寿司もありこれもいける。発酵食品だから体にも良いはずだ。同じニシンでこんなに調理の幅があつてそれぞれ独特のうまみがあり、日本の食の豊かさを感じる。ああもう日本酒が飲みたい。かつて小樽では練御殿が建つほど豊漁だった時代もあったが、乱獲や海水温など環境の変化が原因なのだろうか、ニシンは忽然と消えた。「あれからニシンはどこへ行ったやら。オタモイ岬のニシン御殿も今じゃさびれてオンボロロ、オンボロボロロ」(石狩挽歌)。

話がそれるがこの石狩挽歌を作詞したなかにし礼さんはかつて幼少期小樽に暮らし、ニシンで一攫千金を狙った兄のおかげで大借金し一家離散したという。辛い経験をしたなかにし礼さんの複雑な思いがこの歌詞には込められているのだろう。ここ数年石狩湾を中心に再びニシンの漁獲量が増えつつあるらしい。「ヤーレンソーランソーラン。ニシン来たかとカモメに訊けばわたしや発つ鳥波に聞けチョイ♪」(ソーラン節の起源となった沖揚げ音頭)。小樽にも当時の活気や栄光が戻ることを期待したい。

ニシンの群来(くき)はそこで命をつなぎ子孫を残す崇高なるイベントだが、同じ集まるにしても自民党の政治資金パーティーは露骨な集金イベントだ。裏金に関係した政治家達は罪に問われることなく、税金を追徴されるわけでもなく、政倫審で茶番を演じ自らの保身に努め、進退や返金のことを語る者はおらず、世間の忘却を待ち何食わぬ顔で議員を続けるのだろう。「あれからギインはどこへ行ったやら。正義や謙虚や清廉潔白は今じゃさびれてオンボロロ、オンボロボロロ」か・・・とほほ。(蓮川享士)



人間万事塞翁が馬

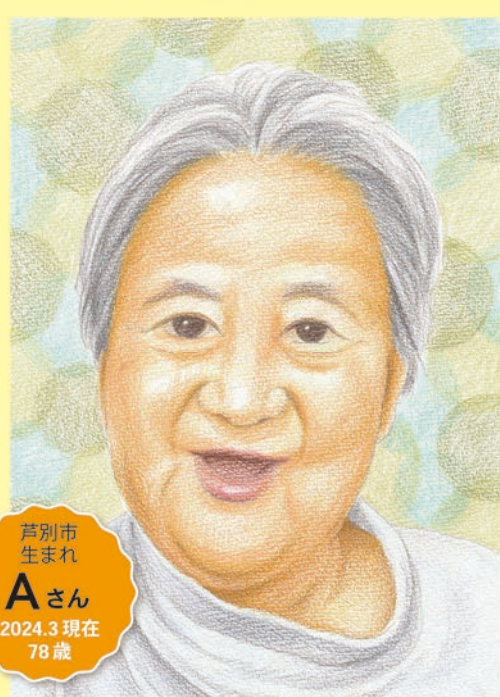
Aさんは5人兄妹（1男4女）の長女として産まれました。小学校3年生頃に母親が他界され、5人兄妹の長女として家の家事等もこなしながら生活していたそうです。本当は学校にも行きたかったが、家の事もあり、なかなか通えない日もあったとか…。

そして芦別中学校を卒業後、進学はせず、15歳から美容師見習いとして芦別や江別で3年間働きます。「中学卒業したてで働いているから、なかなかお客さんに『いらっしゃいませ』と目を見ていう事が出来なかつたなあ」と話されていました。

18歳頃まで美容師としての見習いをしていましたが、給料が安かった事もあり続けていくか悩んでいたそう。そんな時に札幌に住んでいる親戚の家に遊びに行った際、札幌が気に入って「ここに住んでも良いだろうか？」と相談した所、心良く了承してもらえ、札幌に一人で引越して親戚の家に住むことになりました。

そこからは美容師の仕事ではなく、キャラメルが有名な「古谷製菓」で働く事となります。20頃まで製菓関係の仕事をしたが、札幌での生活をしていましたが、親戚からの紹介でお見合いをすることになりました。

紹介されたお相手は浦河で昆布屋やタコなどの網漁を



似顔絵作：松田 郁美

芦別市生まれ
Aさん
2024.3現在
78歳

している4代目の漁師。お見合いでは縁もあり、そのまま結婚の運びとなります。

結婚後は浦河に移り住み、旦那と同じ網漁の仕事を手伝う事になります。

旦那との間には3人の男の子にも恵まれ、朝4時には起床し家事と子育てと加工場での仕事を手伝いながら毎日を過ごしていたそう。

子供も大きくなり、3人の兄弟みんなが野球を始めるようになりました。「部活から帰って来た後、夜の10時くらいまで洗濯があったから大変だったわあ」と言われていました。

夫婦で助け合いながら50年程網漁を続けていましたが、旦那も自分自身も年齢と共に病気がちになり、網漁をやめ、数年間は拾い昆布をしながら生計を立てていたそうです。

その後は漁の仕事はやめ、札幌に旦那と一緒に移り住み、夫婦で施設入所となりました。

現在は一人で生活されていますが、いつでも笑顔が素敵なAさん。Aさんと話していると我々職員も元気を貰えるような大切な存在です。

（聞き手：えくぼ元町 山本亮太）

好きな曲は…

「酒よ」 吉幾三



デイサービスセンターてんやわんや北31条が開設し、5年が経ちました。その間、様々な方から暖かいご支援を頂きやってくる事が出来ました。本当に有難う御座います。さて、私は4月よりえくぼ東雁来に異動となり、約20年ぶりの住宅での勤務となります。気持ちを新たに自分が出来ることを一つでも増やし、新しいご利用者様により良いサービスが提供できるよう頑張っていきたいと思っております。

今までご支援いただきました皆様にも重ねて感謝申し上げます。有難う御座いました。



てんやわんや北31条センター長
日渡 誠一郎

私たちデイサービスの目標は、より温かく、安心して過ごせる居場所を提供することです。利用者の皆さん一人ひとりの個性や生活のリズムに合わせた支援を行い、心身ともに健やかな日々を過ごしていただこう努めます。

また、地域のニーズにしっかりと応え、活性化に貢献することで、地域社会との絆を深めたいと思っております。

これからも、利用者の皆様笑顔で過ごせるよう、スタッフ一同、心をこめてサポートしてまいります。新年度もより良いサービスの提供に向けて、努力と創意工夫を惜しまず取り組んでまいりますので、何卒ご支援のほど、よろしくお願ひ致します。



てんやわんや本町センター長
柴田 直彦

おいらーく

3月行事内容と4月行事予定

令和6年3月行事予定

令和6年2月行事内容とイベント風景

令和6年 3月行事予定

令和6年 2月行事内容とイベント風景

せんり
○お花見

うらら伏古
○桜見物
4月24日～5月5日

えくぼ東雁来式番館
○とくし丸（移動販売）
○金さん銀さん（訪問理容）
○丸駒青果（訪問販売）

えくぼ元町 & COCO元町
○日程未定 合同誕生日会

えくぼ & COCO元町式番館
○えくぼ&COCO元町式番館 = 春の七草粥
○サテライトえくぼ = 春祭り

銭函お散歩カフェ
○6日・20日 趣味の会
○6日 ミニライブ
～銭函事業有志～
☆陶芸作品展開催中

COCO輝楽
○衣料販売(さいじょう)
○誕生会
○訪問理容

○ひなまつり
○誕生会
○歌サークル



○10日 お雛様（記念撮影）



○3日（日）ひな祭り（大正琴演奏・ひな祭りパフェ）



○24日 ひな祭り行事



○えくぼ&COCO元町式番館 = ひな祭り
○サテライトえくぼ = コロナの為未実施



○16日・30日 趣味の会
○17日 出張カフェin輝楽
○陶芸作品展開催中



○ひなまつり
○誕生会
○出張カフェ



経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。